

## O-1

### 使用薬剤の組み合わせによる未発泡が目立った事例についての報告

(公財) 秋田県総合保健事業団

○赤川 光浩

【はじめに】当事業団ではバリウムはA社B社の2製品を使用しています。発泡剤は二社の他に2年前からC社製品も使用しています。事業団には検診部門として3センターがあり薬剤の使用組み合わせは各センターに任せています。

○薬剤の使用組み合わせ(県南健診センター)

検診車1 検診車2

バリウム A社 B社

発泡剤 C社 C社

200w/v%、130mlのバリウムで発泡剤を飲料している。

【事例】未発泡に気づいたのは検診車2で4月になってからです。冬場の検診が少ない時期は検診車1がメインで稼働していますが、検診車2も時々稼働しています。

発泡されない顆粒にバリウムがコーティングされたような状態で胃壁についており、中には検診終盤でもそのまま確認できるものもありました。また、全例に生じているわけでもありません。

【結語】二年間問題なく使用できていた薬剤で、なぜ未発泡の顆粒が目立つようになったのか原因は不明のままです。現在は検診車2ではB社のバリウムと発泡剤を使用しています。検診車1の組み合わせでは問題は起きていません。製品による微妙な変化や変更など何か無いかメーカーにも問い合わせましたが何も無いとの回答でした。水道水を使用するとか我々の手順にも変化はありません。

今回は、このような発泡剤が発泡しないという事例を経験しましたので報告します。